



http://www.shinshiyou.com

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F  
TEL. 045(440)3210 FAX.045(440)3209

発行元/公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 発行人/会長 木元 茂 編集人/神私幼総務部(広報室) 発行/年3回 発行部数/1800部



第63回

神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会

- YOKOHAMA
- KAWASAKI
- YOKOSUKA
- FUJISAWA
- KAMAKURA
- CHIGASAKI
- SHOUOU
- ODAWARA
- SOUWA
- SAGAMIHARA
- ZUYOU
- ATSUGI

令和5年8月8日(火)  
開催決定!



詳細は後日ご案内いたします。  
皆様のお申込みをお待ちしております。

INDEX

2-3 NEW県連2024になるために

●(公社)神奈川県私立幼稚園連合会 会長 木元 茂

令和5年度 私学振興費の概要について

4-5 教育経営研修会開催

研修事業部・研究部 活動報告

●中堅教諭対象講習会 ●資質向上セミナー(乳児保育セミナー) ●若手後継者のための保育勉強会

6 法律相談/教育相談/教育相談事業からのお知らせ

認定子ども園委員会からのお知らせ

7 令和4年度キャリアアップ研修会、キャリアアップ研修の受け方  
～組織の礎を築く研修として～

後継者育成研修会

かけがえのない体験を提供することが好循環へ

102条園研修会について～満3歳児がいる幼稚園～

ケンタガーデン

8 研修会報告/新規賛助会員紹介/賛助会員プレゼンテーション



### 令和5年度 私学振興費の概要について

令和5年2月10日ようちえん会館において令和5年度県予算(案)「私学振興費」の概要を、福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課山中毅課長より説明がありました。

令和5年度予算は「持続可能な神奈川の推進」をテーマに、一般会計当初予算額2兆2616億円で重点施策は9つあり、着目したいのは「神奈川子ども・子育て基金」の設置(令和4年度2月補正予算)80億円です。基金の使い方等はこれから議論になると思いますので、動向を注視し積極的に関与することが重要であると考えます。私学振興費の概要は、経常費補助(幼稚園)89億で前年度比96.2%ですが、19園(令和4年度・経常費額7千3百万)が新制度に移行していますので、1園当たりは増額になります。同様に預かり保育推進費3億1千万(23園減)、地域開放推進費1億2千万(33園減)となります。生徒・児童・園児1人当たり単価は、前年度比108.6%増で国基準単価を上回っていますが、幼稚園教諭の処遇改善事業の金額が上乘せされているため、前年度対比は参考になりません。その処遇改善事業ですが、令和5年度も補助率2/3となります。私立幼稚園緊急環境整備費補助の交付について、引続き注視し、使いやすい方法を県当局に求めたいと思います。幼稚園教員復帰支援事業、退職金制度補助、私学団体助成費は前年同額となりました。預かり保育を実施する幼稚園等への補助で、課業期間中に5時間以上実施する幼稚園等へ加算ですが、国基準を下まわっています。国の予算以上に県当局が予算付けをすることが少ない状況で、総理大臣が少子化対策を推進、4月よりこども家庭庁が発足するので、国・県に対し我々の主張を届けることが、重要になると考えます。安心・安全対策支援事業(送迎バスの改修支援等(令和4年度12月補正))、私立幼稚園等感染症対策費補助(令和4年度2月補正)の2つは5年度も行うので、園のタイミングで申請して下さい。

(文責 振興部長 仁藤一成)

### 令和5年度当初予算(案)私学振興費等の概要 (私立幼稚園関係抜粋)

事業	令和5年度 (千円)	対前年度比 (%)	幼稚園関係摘要
経常費補助	8,903,693	96.2	園児単価：国の基準単価 197,094円 県の割戻額(特別補助を含む) 217,384円 前年度比較 17,226円増
内 預かり保育推進費(特別)	313,527	96.5	補助対象園数の減 207園→184園(23園減)
内 地域開放推進費(特別)	127,000	85.7	補助対象園数の減 227園→194園(33園減)
幼稚園教員復帰支援事業費	1,727	100.0	県単独事業
私立幼稚園特別支援教育費補助	1,713,040	104.4	補助対象園児数の減 2,334人(99人増) (新制度移行園含む)
私立幼稚園移行準備費補助	4,050	76.9	認定こども園等への移行にかかる業務負担軽減の費用補助
私立幼稚園園務改善費補助	71,260	195.6	幼稚園業務の負担軽減のための支援システムの推進
私立幼稚園緊急環境整備費補助	70,833	98.3	幼児教育の質向上を図るため、遊具等を整備する私立幼稚園及び認定こども園に対して補助。
私学団体助成費	6,400	100.0	私学4団体の研修事業等に助成(当連会分:2,230千円)
(次世代育成課) 一時預かり事業費補助	1,668,609	84.1	緊急的な保育ニーズや保護者の通院・通学・リフレッシュのために就学前児童及び幼稚園児の一時預かり事業を実施する市町村への補助。

★子ども・子育て基金積立金：8,000,000千円(令和4年度2月補正予算)



SDGsは、2016年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことで、SDGsは「持続可能な開発目標」の略で「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、2030年を期限とする包括的な17の目標及び169のターゲットにより構成されています。ESD(Education for Sustainable Development)の略で「持続可能な開発のための教育」は、このうち、目標4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」のターゲット4.7に位置付けられました。今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらす、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

【世界課題解決】 私たちはこのような法改正によって寄附行為を変更したり、制度の改正によって「私学助成制度」以外に「新制度」ができてどちらかを選択したり、定期的に教育指導要領が変わることや教育保育の在り方や進め方が変わることを経験しています。そしていま、もう一つ大きく私たちに影響を与える要素が出てきました。それは皆さんお馴染みになったSDGsです。SDGsによって世界が大きく変わろうとしています。私は単純にこのロゴの17のゴールに関連することを、保育の場面にうまく取り入れればいいのだろうと安直に考えていました。しかし、これはもつと大きな人類の営みや価値観を変える概念だと気付きました。横浜市の先駆的な小学校の活動を知り、「なぜそうするのか」「私たちは本当は何をしないといけないのか」の根本を理解すべきと感じました。SDGsやESDのことを、わからないままでも、私には関係ないやり過ぎすることもできそうです。でも、これは世界中の国と人々が相談して決めた新しいルールや枠組みなのです。世界に冠たる企業のトップがこう言ったそうです。「やり方を間違えると企業が飛んでしまう。投資家からそっぽを向かれてしまう。仕事に就きたい若者は目の前の企業がSDGsに対してどう取り組んでいるかを確認してから企業を選ぶ。逆に企業側もこの若者は大学教育で何を学んだかを採用のポイントにしたいし、SDGsに貢献できる企業の人材として相応しいかを見ていく」社会貢献的なマインドからSDGs抜きでは、今後の企業活動や行政活動が困難になり始めています。このように社会が変わるから、大学も変わらざるを得ないですし、当然のように高等学校も中学校も小学校もです。そして幼稚園もなのです。いま、「非認知能力」という言葉が浸透しはじめています。SDGs達成のための持続可能な社会の担い手・創り手を育成するために、重要な考えは「非認知能力」と言われています。幼児教育の方向性が大きく変わってきたと言えます。

【足元では】 県連の担うべき役割も同様に大きく変化しています。園児減少により組織の基盤が揺れ始めていますが、各園を取り巻く経営環境は多様化複雑化しているため、しっかりと国や県の情報提供をする必要性が高まっています。世界の潮流の変化は私たちの知らないところでどんどん進んでいます。それが幼児教育にどのような影響をもたらすのかを、経営的な研修会を通して新情報に加盟園の皆さんに解説して、園経営に役立っていたことが重要となってきました。県連がこれまで継続してきた事業を例年

が私学助成園数を上回りました。また、園児数の減少は今後も続き、県連の規模の縮小は避けられない状況です。これまで私学助成の経常費補助金増額を中心に据えて、振興、研修など様々な活動をしてきた県連としては、これまでの予算・組織での運営は難しい状況になってきました。さらに幼児教育・保育の施策に目を移すと、県内には横浜・川崎・相模原の3政令指定都市があり、各地区協会と市が直接交渉している事業も多く、年々基礎自治体との関係性が強くなってきています。一方で、各市町のエリアを超えて通園する保護者も多く、

【令和6年度に新体制移行！】 令和4年度に、神奈川県内の新制度園数

とか恒例といった理由で営むのではなく、徐々に目的を再確認し変化が必要ならば変化するべきではないかと考えています。

【令和6年度に新体制移行！】 令和4年度に、神奈川県内の新制度園数

の研修会を実施するには移動時間の確保など様々な制約があります。このような中で、新型コロナウイルスを経て、私たちはオンラインという新しいツールを手に入れました。今後も、県内の572園の多くの先生方が享受できる施策を実施していくには、オンラインを活動の主役にしていくしかありません。そのために、県連の運営の仕方も新しい時代に合わせて変化をせざるを得ないところまで来ています。そして、これからの1年間は新たな県連へと姿を変えるための議論を集中的に実施してまいります。

## NEW県連2024になるために



公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会

会長 本元 茂

【私立学校法改正】 現在の国会において、「私立学校法改正法案」が可決される見込みだと言われています。今回の法改正は2021年のN大理事長の不祥事に端を発して、私立学校が一部の理事に喰い物にされることを防ぐことを目的としていると言われています。国が認可する大学学校法人と、県が認可する幼稚園のような小規模学校法人で変更内容は異なるようですが、寄附行為の変更も伴いますし、税制上の優遇措置もあり、経常費補助金等や幼児教育の無償化で多額の税が投入されていますので、幼児教育を担う法人としてのガバナンス(健全な管理体制と経営)が求められるのは当然だと言えます。令和7年度からスタートという情報もありますので、神奈川県私学振興課等と連携して皆様に情報提供をまいります。

SDGsによって世界が大きく変わろうとしています。私は単純にこのロゴの17のゴールに関連することを、保育の場面にうまく取り入れればいいのだろうと安直に考えていました。しかし、これはもつと大きな人類の営みや価値観を変える概念だと気付きました。横浜市の先駆的な小学校の活動を知り、「なぜそうするのか」「私たちは本当は何をしないといけないのか」の根本を理解すべきと感じました。SDGsやESDのことを、わからないままでも、私には関係ないやり過ぎすることもできそうです。でも、これは世界中の国と人々が相談して決めた新しいルールや枠組みなのです。世界に冠たる企業のトップがこう言ったそうです。「やり方を間違えると企業が飛んでしまう。投資家からそっぽを向かれてしまう。仕事に就きたい若者は目の前の企業がSDGsに対してどう取り組んでいるかを確認してから企業を選ぶ。逆に企業側もこの若者は大学教育で何を学んだかを採用のポイントにしたいし、SDGsに貢献できる企業の人材として相応しいかを見ていく」社会貢献的なマインドからSDGs抜きでは、今後の企業活動や行政活動が困難になり始めています。このように社会が変わるから、大学も変わらざるを得ないですし、当然のように高等学校も中学校も小学校もです。そして幼稚園もなのです。いま、「非認知能力」という言葉が浸透しはじめています。SDGs達成のための持続可能な社会の担い手・創り手を育成するために、重要な考えは「非認知能力」と言われています。幼児教育の方向性が大きく変わってきたと言えます。

### ※参考【SDGsとESD】

2015年の国連サミットにおいて、先進国を含む国際社会全体の目標として、「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)が採択されました。

SDGsは、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、2030年を期限とする包括的な17の目標及び169のターゲットにより構成されています。ESD(Education for Sustainable Development)の略で「持続可能な開発のための教育」は、このうち、目標4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」のターゲット4.7に位置付けられました。今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらす、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

つまり、ESDは持続可能な社会の創り手を育む教育です。

### ESDで目指すこと

- |  |   |
|--|---|
| (1) 持続可能な社会づくりを構成する「6つの視点」を軸にして、教員・生徒が持続可能な社会づくりに関わる課題を見出します。持続可能な社会づくりの構成概念 | (2) 持続可能な社会づくりのための課題解決に必要な「7つの能力・態度」を身につかせます。ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度 |
| 1. 多様性(いろいろある)   | 1. 批判的に考える力   |
| 2. 相互性(関わりあっている)   | 2. 未来像を予測して計画を立てる力  |
| 3. 有限性(限りがある)  | 3. 多面的・総合的に考える力   |
| 4. 公平性(一人一人大切に)  | 4. コミュニケーションを行う力  |
| 5. 連携性(力合わせて)  | 5. 他者と協力する力   |
| 6. 責任制(責任を持って)   | 6. つながり方を尊重する態度   |
|  | 7. 進んで参加する態度  |



基調講演

# 「これからの幼児教育の展望」

文部科学省初等中等教育局  
幼児教育課長 藤岡謙一様



文部科学省初等中等教育局幼児教育課長藤岡謙一様より「これからの幼児教育の展望」を講演頂きました。内容としては、

- ① 幼児教育を取り巻く環境
- ② 保護者が求めるもの
- ③ 質の向上に向けた文部科学省における取組
- ④ 令和5年度予算案、送迎用バスの安全対策
- ⑤ 理想の幼保小接続に向けて

とし、短い時間の中でお話を伺いました。急激な少子化傾向にある昨今、幼児教育施設は今後如何様にしていけばよいか考える、とても充実した濃い時間でした。幼児教育を取り巻く環境がとも変化している中、保護者が求めるものが変わってきている

特別講演

# 「教育に科学的根拠を」

慶應義塾大学総合政策学部  
公益財団法人東京財団政策研究所  
研究主幹  
中室 牧子 教授



こと、またそれを知ることによって保育の質の向上を図っていくことが大事だということとを人数の移り変わりや、施設の数を参考に分かりやすく説明してくださいました。また、幼保小の連携を円滑に行うための文部科学省の取り組み「架け橋プログラム」を審議している最中です。現場で使いやすいように具体的に作成しているため、HPから手引きを検索していただき参考にしてください。昨今話題になってきているバスの安全対策の改善に向け、安全対策支援事業についても端的に話を伺いました。各園1台あたり17・5万円の補助が出るそうです。理想の幼保小の連携に向け、理想と現実のギャップを課題と捉え、幼保小だけでなく、行政とも連携して円滑でより良い接続にしていくためにどうしていくか考える講演でした。

経済財政諮問会議（経済の有識者会議）で日本の教育政策について話をした時に、日本の経済を引っ張るような偉い方々が、教育の良さについてご自分の体験を基に話されていました。個々の体験話はそれで良いのですが、教育全般について話す時に一部の特化した事実を一般化することに疑問を感じています。ノーベル経済学賞を受賞したシカゴ大学のヘックマン教授は、教育にお金を掛ける将来投資として一番重要な時期は幼児期と言っています。そこで教授は幼児期の子ども達に質の高い教育を施す実験を行うことで、その子が大人になって社会的に成功していることをそのデータから導き出しました。当初質の高い教育とは、読み書き・算数などの認知能力を育てたからだと思われていましたが、実は忍耐力・社会性・楽観性などの非認知能力だということを知ることになります。この実

験を始めた当初は、認知能力をつけた子ども力を伸ばしていましたが、長い時間データをとることで最終的には非認知能力をつけた子の雇用率が高く、コミュニケーション能力の高い人がいるチームの生産性も高くなるという実験データが出ています。現在アメリカでは認知能力を鍛える幼稚園と非認知能力を鍛える幼稚園の比較実験も行われていて、その幼稚園の子が20歳になった中間発表では非認知能力を高める幼稚園の出身者のパフォーマンスが高くなっています。このように教育の質の高さを考えた場合、多くのデータを整理する事でエビデンスが得られるため、来年度から文科省もデータを取り始めますが、国を始め各自治体が教育に関するデータを集め分析することで、今後日本の教育の質を考えていく必要があると思います。

（文責 研究部長 佐伯妙有）

## 研修事業部・研究部 活動報告

### ■ 研修事業部

#### 中堅教諭対象講習会

#### 子どもの育ちのための造形活動

講師の山崎優先生（子どもの育ちのためのアートらぼ 共同代表）による対面講習会を、ようちえん会館にて、9月21日（水）・

10月28日（金）・11月16日（水）の全3回行いました。

第1回は、幼児期における造形活動の目的「楽しいだけでいいのかな？」

何のために造形活動をするのか？について学びました。「自分がする」「自分でする」という気持ちを生かさせ、「自覚」「意志」「身体性」の連動性を大切に、繰り返し行う。「遊び」は目的ではなく手段。「自分でやってみると面白い」とか「できたこと」が嬉しいという体験をたくさん行う。造形活動で身につく力は、

- ① 自分で決められる力
- ② 時間をかけて取り組む力
- ③ 困ったことに対処する力
- ④ 共感できる力

これらは生活全般に必要な力と捉えることが出来ます。安定した、不安のない楽しい園生活が土台となって豊かな表現が成り立つのです。という学びの後、実技「自分で色を作る活動」に入りました。

#### にはできない」

やがて、ちゃんとできるように、ちゃんとやらなくていい活動から入る。年少児は素材に出会うこと、年中児は道具に慣れること、



年長児は技法に慣れ、思い通りに操作するを目安に活動を考え、ていく。という学びから、実技「自分で色を作る（年長児の活動として）」を行いました。

第3回は、表現と言葉の関係「感覚だけで、表現はできない」

描くとは、意識と意志の伴った行為のこと、描きたい自分になってもうらうこと、そしてそこに不安のない空気を作ることが教師の役割と言うことを学び、年中児と年長児に向けた指導を受け、実技として実物のイカを見て触ってから描きました。

講師は、子ども達がたくさん手や体や心を動かし、いろいろな事を思考した経験が、自分の言葉や身体性となって身の内に育まれてこそ宿るものが「創造性」だと言います。

### ■ 研究部

#### 資質向上セミナー（乳児保育セミナー）

#### 乳児保育の基本

今年度も資質向上セミナーでは、乳児保育セミナーとして井桁容子先生を講師として3回のシリーズで開催しました。井桁先生は現在、乳幼児教育実践研究者として活動していて、非営利団体コードモノミカタ代表理事を務めています。

第1回目は「今、乳児保育が重要な訳」保育者に求められる専門性とは」というタイトルで開催されました。保育者は知っているという思い込みをしまいがちです。コロナ禍で子どもが変化しているのかこれまでの保育を振り返り、保育者一人ひとりの保育観もそれに合わせて変えていかなくてはなりません。保育者の知っているという思い込みは、そのことが正しいとは



限らないということを学びました。

#### 第2回目は「乳児保育における環境構成」

と題して、安全は安心・安定としての心的安全ともの・ひと・こととしての物的安全、環境は子ども・保育者・家族などの人的環境と施設・遊具・家庭・地域社会などの物的環境があり、子どもにとって心の安全のための人的環境としての保育者のまなざしとかかわりについて学びました。

#### 第3回目は「0・1・2歳の保育実践の基本」

と題して、科学的根拠のある乳幼児理解をすることはとても重要です。特に言葉で伝えることが難しい年齢なので、養護と教育を一体的に行うことや子ども一人ひとりにとって最善の利益を考慮して保育することが重要であることを学びました。

当セミナーでは乳児保育について学びますが、幼保連携型のこども園や小規模保育所を運営するようになった幼稚園が多いので、井桁先生の講演は3・4・5歳の目線を0・1・2歳に転換してくれるヒントが沢山あります。また、参加者からの質問にも一つ一つ丁寧に講演の中でお話してくれたり、自身が子どもと関わった経験の話をしてくれたり、写真や映像をもとに分かり易く話をしてくれるので、参加者からは毎回のアンケートでまた受講したいという声が多数あります。まだ受講されていない先生方は、来年度も実施する予定なのでぜひ参加して下さい。

（文責 研究部 安西 透）

#### 若手後継者のための保育勉強会

#### 人との関わりが人を育てる

令和4年度の勉強会は11年目に入りました。昨今、園児減少・職員の離職・園を取りまく環境の変化に伴い、園の改革改善が求められています。各園が抱える問題もたくさんありますが、コーディネーターの若月芳浩先生が中心となり、多彩な講師の方を交えて情報交換をしながら保育の質の向上を受講者と共に語りあい考え学んできました。

今回コロナ禍でしたが、茅ヶ崎市の「うーたん保育園」を視察させていただきました。保育園と児童発達支援センターがひとつになった保育・療育の場です。『うーたん』の大きな特徴は、特別養護老人ホームと、重複障害の方のための施設が、同じ建物の中にあることです。様々な個性のある子が一緒に、同じ屋根の下で時間を過ごしています。医療的ケアが必要な乳幼児も共に過ごしています。

インクルーシブ保育を行い、多様な子どもたちがいる中で一人ひとりを大切にしながら、主体的な保育を行っています。何かあれば、子ども達がミーティングをして、ルールを決めたり、配慮の必要な子どものしぐさや顔色を見て、子どもが代弁をするそうです。瀬山園長先生が職員や子どもを信頼し、あるがままを受け入れる姿が育ちあう環境づくりに繋がっているのだと思いました。また、若月先生、矢藤先生の研修に通じるものがありました。

#### ○第1回

「インクルーシブな保育」導入のススメ  
多様な子どもたちを受け入れるための心得（オンライン）  
講師・若月芳浩先生（玉川大学教授・四季の森幼稚園園長）

#### ○第2回

保育の質を高める組織マネジメント（オンライン）  
講師・矢藤誠慈郎先生（和洋女子大学教授）

#### ○第3回

茅ヶ崎市「うーたん保育園」視察研修

#### ○第4回

「幼稚園・認定こども園のICT」  
講師・相馬靖明先生（フリーランス）

#### ○第5回

「国際バカロレア教育（IB教育）と幼児教育が目指す事」  
学びの未来構想と課題  
講師・星野あゆみ先生（玉川大学大学院教育学専攻教授）

（文責 研究部 志村富子）





©ビッグ錠

- ① 満3歳児保育を導入する前に知っておくべき制度面に関する事項について
- ② 田名幼稚園が実際に取り組んでこられた具体的な内容
- ③ 満3歳児保育導入によって、幼稚園が

これらから満3歳児保育の導入を検討している幼稚園はもろろん、既に満3歳児保育に取り組んでいる幼稚園にとっても新たな気付きに触れる機会となり、大変有意義な研修会となりました。

(文責 102条園委員会 中尾賢治)



認定こども園委員会ではキャリアアップ研修を実施しており、令和4年度も12月末に1日あたり5時間、3日で15時間のマネジメント分野に該当する研修計画を立てました(コロナ禍で講師の体調不良により5時間は3月に延期となり申し訳ありません)。長期休業中に集中して研修を受けたい、あるいは研修参加への移動時間のない研修を受けたい(オンライン研修)という組織の中心を担う方々のニーズに対応し、ここ数年は3日間とも100名前後の受講者数で推移しています。

組織の礎を築く研修には私学助成園・新制度園の境目はなく、研修を受けることにより、各保育者がキャリアパスの構築に向けた見直しをもち、各々が組織の中で職務・職責を担いながら有機的につながり、チームとして機能することが保育の質の向上につながるのだと認定こども園委員会でも話し合われているところです。

(文責 認定こども園委員長 西山俊太郎)

認定こども園委員会ではキャリアアップ研修を実施しており、令和4年度も12月末に1日あたり5時間、3日で15時間のマネジメント分野に該当する研修計画を立てました(コロナ禍で講師の体調不良により5時間は3月に延期となり申し訳ありません)。長期休業中に集中して研修を受けたい、あるいは研修参加への移動時間のない研修を受けたい(オンライン研修)という組織の中心を担う方々のニーズに対応し、ここ数年は3日間とも100名前後の受講者数で推移しています。

組織の礎を築く研修には私学助成園・新制度園の境目はなく、研修を受けることにより、各保育者がキャリアパスの構築に向けた見直しをもち、各々が組織の中で職務・職責を担いながら有機的につながり、チームとして機能することが保育の質の向上につながるのだと認定こども園委員会でも話し合われているところです。

(文責 認定こども園委員長 西山俊太郎)

## 令和4年度キャリアアップ研修会 キャリアアップ研修の受け方 組織の礎を築く研修として

新制度園においては処遇改善等加算Ⅱの研修了要件にかかわらず、段階的に60時間の研修が求められますが、本委員会でのキャリアアップ研修は必須となつていないマネジメント分野として認められたものを開設しています。(資料・処遇改善等加算Ⅱの研修了要件の必須化時期の取り扱いについて令和3年6月18日付)

認定こども園委員会からのお知らせ

### 後継者育成研修会

### かけがえのない体験を提供することが好循環へ

令和5年1月24日に後継者育成研修会を開催しました。今回は横浜DeNAベイスターズ広報・コミュニケーション部長の青木慎哉様をお招きし、「横浜DeNAベイスターズの経営戦略について」をテーマにお話しいただき、会場がなごわやうちえん会館には20人の後継者や園長・設置者らが参集しました。



「今後の展望」としてスポーツ界の先頭をいくビジョンを伺いました。さらに野球から他スポーツへの横展開、DeNAが手掛けるバスケットボール、サッカーへとつなげ、スポーツと街づくりの貢献を進めていくと結びました。

(文責 経営管理部 山田賢二)

## 102条園研修会について 満3歳児がいる幼稚園

令和4年11月21日、神奈川県私立幼稚園連合会・研修事業部部長の永保貴章先生(田名幼稚園)を講師にお招きし、令和4年度102条園研修会をオンラインにて開催しました。

### 果たせる社会貢献について

④ 幼稚園の強みを今こそ発揮するために、田名幼稚園での実践例を交えながら、満3歳児保育導入のメリット、今後の課題等についてお話しいただきました。また研修会の後半では参加者を3つのグループに分け、意見交換ができる場もあり、各園の現状、未来への展望を共有することができました。

### 法律相談

#### R&G横浜法律事務所

〒220-0012  
横浜市西区みなとみらい4丁目4番2号  
横浜ブルーアベニュー2階

TEL.045-671-9654

県連窓口担当 西村将樹 弁護士



### 時間外手当について

労働基準法において労働者がいわゆる管理職に該当する場合には時間外割増賃金及び休日割増賃金が支払われないとされています(深夜割増賃金は支払われます)、管理職の該当性に関して法律は具体的な要件を定めていませんので、法人によって様々な運用がされているのではないかと思います。

実務上は

- ① 職務の内容、権限及び責任の程度
- ② 実際の勤務態様における労働時間の裁量の有無
- ③ 待遇の内容、程度

という3つに着目して実質的に検討する必要があるとされており、名称や形式のみで判断されることはありませんので、例えば「主任」であるから管理職に該当する等と直ちに判断されることにはなりません。

上記①～③はどれか1つだけを検討するというものではありませんが、特に重視されるのは①であり、裁判所は経営者と一体的な立場で仕事をしているか否かという観点から判断する傾向にあります。具体的には、職務内容が少なくともある部門の全体の統括的立場にあり、部下に対する労務管理上の決定権限等について一定の裁量権を有していること、人事考課や機密事項に接していること等が必要になってきますので、裁判所が管理職として認めるためのハードルが高いことに注意が必要です。

#### 令和4年 法律相談件数

相談内容	件数
労務	15
経営	6
保護者	9
事故	3
その他	1
合計	34

## 教育相談事業からのお知らせ



教育相談事業は、これまでは主に電話で、お子様の発達や園での対応についてのご相談を、保護者や園の先生からお受けしていました。しかしながら事業のレビューをしてみると、保育の実際を拝見しないと答えできないご相談内容が多いことが分かりました。また、地域によっては公的な巡回訪問の回数や時間が減少したり、相談したい人数が増えたりして、支援の方策についての具体的なアドバイスをもっと欲しいというお声が届くようになりました。そこで、現場のニーズに合わせ、この事業は従来の「電話相談」と「講演」に三本目の柱として「巡回訪問」を加え、現場に寄り添った事業としてリニューアルします。

### 教育相談

#### 相談の申し込み

電話・ホームページから事務局へ申し込みください。

TEL.045-440-3210  
http://www.shinshiyou.com



教育相談員 鈴木敦子先生  
(臨床発達心理士)

### 人生に二度ある支援

私事ですが、突然母の介護をすることになりました。食事、排せつ、入浴、着替えなどまさに生活そのものです。世話をしながら、うん?これは前にもしたことがある、デジャヴですね。子育てです。そういえば靴下も履かせました。子どもは本人に履かれないので難しいです。母は履かなくても手が届きません。自力でできないのは同じです。子どもと高齢者は驚くほど共通点があります。朝食でソーセージとトーストを食べ終わるまでイチゴを出してはいけない、先に果物ばかり食べてしまうから。食事時にテレビをつけてはいけない、気が散って1時間も食べているからです。なぜ似ているのでしょうか?おそらく脳の発達です。子どもの脳は「これからたくさん働く脳」で高齢者の脳は「これまでたくさん働いた脳」なのです。

さて、以前幼稚園ではよく4月入園時にオムツがとれていることを掲げていました。紙オムツの普及で濡れても不快感がなく、取れるのが遅いとまことしやかに言われます。しかしまず自分で「出そう」の感知が必要でしょう。これがわかるのはやはり脳です。トイレトレーニングのフィードバック効果もありますが、やはり脳の十分な成熟が最も大切です。

#### 令和4年 教育相談件数

	電話	面談	出張	計
1月	3	0	6	9
2月	3	0	2	5
3月	3	3	4	10
4月	3	1	0	4
5月	5	1	5	11
6月	3	3	8	14
7月	2	4	9	15
8月	1	0	0	1
9月	6	3	4	13
10月	6	0	5	11
11月	2	2	1	5
12月	5	1	2	8
計	42	18	46	106

相談員は、臨床発達心理士の鈴木敦子先生です。ご相談をいつも温かく迎えてくださるので、リピーターが多い先生です。巡回訪問では、鈴木先生が県内どちらの園でも伺います。支援の方策をアドバイスするだけでなく、ご要望があればケース会議にも同席したり、園内で保護者と直接面談をすることもできます。また、鈴木先生は研修事業部主催の特別支援教育研修会(講師:上原芳枝先生)を毎回傍聴されていますので、同研修を受講した先生が現場で応用をする際に、研修と臨床をつなぐアドバイスをしてくださると思います。

### 現場の先生を支える教育相談事業へ!

この会報に本事業のチラシを同封しました。新しい柱である巡回訪問事業をぜひご活用ください。

(文責 研修事業部長 永保貴章)



研修会報告

■ 研修事業部主催 ■ 研究部主催 ■ 経営管理部主催 ■ 認定こども園委員会主催

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数
12/ 6(火)	特別支援教育研修会 兼10年経験者研修会 第5回	オンライン研修 (ZOOM使用)	特定非営利活動法人 発達支援機関 リソースセンターone 代表理事 臨床発達心理士 上原 芳枝 先生	「脳機能の視点をふまえた気になる子を含む クラスづくりー見えない支援・見せない支援ー」	209名
1/18(水)	特別支援教育研修会 兼10年経験者研修会 第6回			「実効性の高い個別指導計画の立案」・ 事例検討演習	202名
2/22(水)	新規採用教員研修会 第5回	オンライン研修 (ZOOM使用)	玉川大学教育学部教授 四季の森幼稚園園長 若月 芳浩 先生	「新任としての1年を振り返って ～子どもに寄り添う保育者の役割～」	142名 (予定)
2/24(金)	若手後継者のための保育勉強会 第5回	ようちえん会館	講師： 玉川大学大学院 教育学専攻教授 星野 あゆみ 先生 コーディネーター： 玉川大学教育学部教授 四季の森幼稚園園長 若月 芳浩 先生	「国際バカロレア教育(IB教育)と 幼児教育が目指す事」	30名 (予定)
1/24(火)	後継者育成研修会	ようちえん会館	株式会社 横浜DeNAベイスターズ コーポレート 本部 総務部ビジネス統括本部広報・コミュニケ ーション部 部長 青木 慎哉 氏	ベイスターズの経営戦略について	20名
12/23(金)	キャリアアップ研修 講座A	オンライン研修 (ZOOM使用)	名寄市立大学特命教授 明福寺ルンビニー学園幼稚園・ルンビニー 保育園 副園長 猪熊 弘子 先生	危機管理、事故防止	77名
3/ 2(木) 3/22(水)	キャリアアップ研修 講座B	オンライン研修 (ZOOM使用)	玉川大学教育学部教育学科 教授 田澤 里喜 先生	保育の質の向上に向けた園づくり	92名 (予定)
12/27(火)	キャリアアップ研修 講座C	オンライン研修 (ZOOM使用)	株式会社クロスライフパートナーズ 代表取締役 雑賀 竜一 氏	幼稚園におけるリーダーシップと チームマネジメント	91名

神奈川県の発展と夢ある未来に貢献します！

保育士の皆様の負担を減らし、  
お子様が安心して過ごせる環境づくりをお手伝いさせていただきます。

リリーふなっぽ  
5く5く検温  
リリーふなっぽ  
CO2 あいず  
リリーふなっぽ  
びーこんろっち

株式会社ワイイーシーソリューションズ  
ソリューションサービス事業部 リリーふなっぽ担当  
〒231-0023  
神奈川県横浜市中央区山下町 22 山下町 SSKビル  
☎045-662-0881 <https://www.yec.ne.jp/>



**NEW 新規賛助会員**

**株式会社日本ビューテック**  
取扱：バックアイカメラ・ドライブレコーダー  
〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中3-26-6 Tel. 044-777-7771

**賛助会員を広く募集します**  
加盟園の皆様からのご紹介をお待ちしています。  
ぜひ県連事務局へご連絡下さい。


**プレゼンテーション Presentation**

**運営委員会でサービスをご紹介いただきました！**

令和4年12月7日 **株式会社アイコーメディカル**  
給食サービス業

令和5年1月11日 **株式会社シンテン**  
遊具、体育器具、等の点検・修繕

令和5年2月8日 **株式会社ロングストーン**  
ホームページ制作・運用、ITコンサルティング業



保育の現場に寄り添い、安心のサポートを致します

**全日私幼連・保険全般**  
園児24保険・加入園賠償責任他

**保険代理店 株式会社ミルボード**

県央支店 046 (257) 9077  
本店 045 (476) 2013



お客様の数だけ、安心の形がある。

ネエチアは、創業当初より50年間培ってきた  
豊富な納入実績とノウハウがあります。  
大規模施設から小規模施設まで、  
セキュリティ分野で長年蓄積したノウハウと、  
最新のテクノロジーに対応した技術力をもって  
最適なセキュリティシステムを実現します。




**株式会社ネエチア** 神奈川県横浜市大上1-7-38  
TEL:0467-77-2222  
<https://www.e-nature.co.jp>